

丹波市 地域おこし 協力隊

地域おこし協力隊の活動を報告します

観光でまちの活性化に取り組む

清水 健矢さん vol.42

経歴：大阪府出身。(株)ソフトバンク退職後、WEB制作と飲食店を経営。丹波市に移住後、交流人口の増加に取り組む。

任期：令和元年7月～



こんにちは、清水です。丹波市に関わる人を増やすこと、また、関わる人の人生が豊かになるような仕組みをつくることを目標に、主に2つのことに取り組んでいます。

1つ目は、Webサイト「Tamba Style」の立ち上げと運営です。このサイトでは、ただ観光情報を提供するのではなく、市内に住む人に焦点を当てて、その人に会いに行ってみたくするようなサイト作りを意識しています。月間1万回近く閲覧されていて、影響力のある丹波市の観光情報サイトの1つになっています。

2つ目は、毎月第1日曜日に石生区自治会が開催する「みわかれマルシェ」の企画と支援です。当マルシェでは、氷上地域の水分け

公園周辺に、市内のこだわりを持った事業者に出店いただき、生産者と来場者の会話を大切にしつつ対面販売を行っています。1回目の開催時には、市内外から約1,000人が来場されました。もちろん感染症対策を講じた上で実施しています。次回開催は3月7日の予定です。

以上のような活動を通して、丹波市に関わる人を増やし、丹波市での良い経験を通して、丹波市を好きになってもらえるよう努力しています。



みわかれマルシェを楽しむ参加者たち



Tamba Style



みわかれマルシェ

市長・林時彦 時を駆ける



年頭の挨拶と新型コロナ ナ対応

昨年12月25日、1月10日に予定していた成人式を延期する決断をしました。延期した場合の影響を様々な方面から考慮した結果の大きな決断でした。

特に、新型コロナウイルスの感染が拡大するこの時期に都会からの帰省を促すことの是非と、一生に一度の成人式の晴れの日を、この丹波市で迎えさせてあげたいという思いの狭間で最後まで悩みました。最終的に、新型コロナウイルスが全国的に拡大・深刻化している状況で、新成人と市民の生命の安全を最優先に考えた上での苦渋の決断として、延期を決定しました。5月4日の開催に向けて、万全の準備をしていきたいと思っています。明けて1月4日の仕事始め式では、職員のみなさんに次のような年頭の挨拶をしました。内容の1つ目は「挨拶をする」と。何事も大きな声ではっきり

と挨拶することから始めましょうと伝え、私自身もしっかりと挨拶することを約束しました。

2つ目は「自分から求めて市役所に入ったことを自分自身に言い聞かせ、腹をくくって物事に対処しよう」ということです。私が政治の世界に飛び込んだときは、誰に頼まれたのでもなく、自分自身が求めて入ったのだから、嫌なことや苦しいことがあっても、強い信念を持って難題に当たることを心掛けていました。この経験から、職員のみなさんには、市役所に入って市民サービスを志した初心を思い出して、市民のみなさんに寄り添ってほしいと思っています。誇りを持って子どもたちに「帰ってこいよ」と言えるまちづくりに向けて、一緒に進んで行きましょう。



丹波市長 林 時彦

仕事始め式でのあいさつ